

CD-adapcoソフトウェア 製品固有条件

本CD-adapcoソフトウェア製品固有の条項の修正条件(以下「CDa修正条件」という。)は、一般名称STAR-CCM+、STAR-HP C、STAR-CD、es-ice、DARS、HEEDS、SPEED、及びBattery Design Studio (BDS)(単独で使用できない当該製品向けの任意のアドオンソフトウェア及びアプリケーション生産ツールを含む)、又はSISWが選択できる任意の後継製品名の下で、SISWによってライセンスを供与されるソフトウェア(以下「CDaソフトウェア」という。)のみに関した、お客様とSISW間の本契約に対する修正条件を構成します。 それに応じて、本CDa修正条件は、本契約の付属文書を形成し、本CDa修正条件の条項と本契約の本文の間に矛盾がある場合、CDaソフトウェアの使用に関しては本CDa修正条件の条項が優先します。 本CDa修正条件は、お客様が本契約の下でライセンスを供与できるその他のソフトウェア、又はSISWが提供できるSaaS(サービスとしてのソフトウェア)には適用されません。

1. 定義 本CDa修正条件において大文字で表記された用語は、本CDa修正条件で別途定義されている場合を除き、本契約でそれらの用語に割当てられた意味を有します。 本CDa修正条件における定義:
 - 1.1 「コア」とは、プログラム命令を読取って実行する、独立した処理ユニットを意味します。 中央処理装置(CPU)には1つまたは複数のコアを含めることができます。
 - 1.2 「ライセンス取得済みサーバー」とは、ライセンスキーがLSDAで特定されたとおりにインストールされているサーバーを意味します。
 - 1.3 「セッション」とは、CDaソフトウェアで利用可能な機能を有効化するための、正規ユーザーによるCDaソフトウェアの使用を意味します。
 - 1.4 「サイト」とは、お客様の正規ユーザーによるCDaソフトウェアの使用が許可されている、お客様の物理的な場所を意味します。
2. ライセンスの付与と条件
 - 2.1 本契約の下でお客様に付与されるライセンスは、LSDAにライセンスがマルチサイト(以下「マルチサイトライセンス」という。)、又はグローバルマルチサイト(以下「グローバルマルチサイトライセンス」という。)であることが示されていない限り、サイトに限定されるもの(以下「サイトライセンス」という。)とします。 サイトライセンスの場合、サイトがLSDAで指定されます。 マルチサイト及びグローバルの場合、サイトはテリトリ内の任意のサイトになります。 サイトは、SISWの事前の書面による同意を得た場合にのみ変更できます。 マルチサイトライセンスとグローバルマルチサイトライセンスは、本契約の定義に従ってテリトリに付与されます。 LSDAにおいて別に定められた場合を除き、CDaソフトウェアに関して本CDa修正条件に基づいて付与されるライセンスは、サブスクリプションシリアルサイトライセンスとなります。
 - 2.2 お客様の支配下にあるライセンス取得済み物理サーバーに、ライセンスキーをインストールする必要があります。 正規ユーザーは、CDaソフトウェアをサイトに位置する間だけ使用でき、当該使用は、LSDAで特定されたお客様の事業目的に限定されます。 LSDAで許可されている場合を除き、CDaソフトウェアを使用して作成されたファイルの処理には、最初にファイルを作成したときに用いたライセンスを使用する必要があります。
3. ライセンス
 - 3.1 「HPCライセンス」とは、シリアルライセンスに1つの追加コアの利用を許可するライセンスを意味します。 追加コアごとに、別のHPCライセンスが必要です。
 - 3.2 「パワーオンデマンド」又は「POD」とは、LSDAに指定されたとおりに購入時間数のあいだ、回数の制限なくセッションを使用できる、期間限定パワーセッションライセンスを意味します。 各セッションの合計経過時間は、購入された時間数に達するまでカウントされます。 未使用の時間数に対する権利は、期間限定ライセンスの期限が満了した時点で喪失します。

- 3.3 「パワーセッション」とは、正規ユーザーが無制限の数のコアで1回の連続セッションにCDaソフトウェアを使用するためのライセンスを意味します。
- 3.4 「パワートークン」とは、お客様がLSDAの下で別途購入することができ、ライセンス取得済みサーバーによって考慮される権限を意味します。パワートークンは、本契約の期間中いつでもお客様の裁量で、次のものを取得するために使用できます。(i) 10個のパワートークンの償還で、STAR-CCM+ CDaソフトウェアを使用するための1つの制限付きシリアルライセンス(ソルバーへのアクセスを除く)、(ii) 1個のパワートークンの償還で、1つのHPCライセンス、又は(iii) 1個のパワートークンの償還で、1パワートークン当たり1回のセッションを実行するためのライセンス(当該セッションがOptimate又はHEEDSを通して開始される場合)。パワートークンの使用を完了したら、同じパワートークンが上記(i)、(ii)、及び/又は(iii)の下で複数の権限に対して同時に使用されていない限り、パワートークンを期間中、上記(i)、(ii)、又は(iii)に従って、他の目的に再利用できます。
- 3.5 「シリアルライセンス」とは、1つのコアで1回のセッション中、正規ユーザーがCDaソフトウェアを使用するためのライセンスを意味します。